



社会福祉

和納保育園を移転改築

健康で活力ある福祉社会の実現を

「二十一世紀を担う子供たちの教育環境整備」のため、まず今年の重点施策のひとつとして、老朽化が進み手狭となった「和納保育園」の移転改築を行います。鉄筋平屋建て総面積二千二百平方メートル、総事業費は約二億三千八百五十万円です。建設場所は和納七区の旧浄水場跡地（旧岩室村商工会跡）、建設は七月ころを予定しています。

また、福祉面では、「弱い人を助け合う情緒豊かなまち」を目標に、昭和五十九年十月に法人化になった社会福祉協議会を

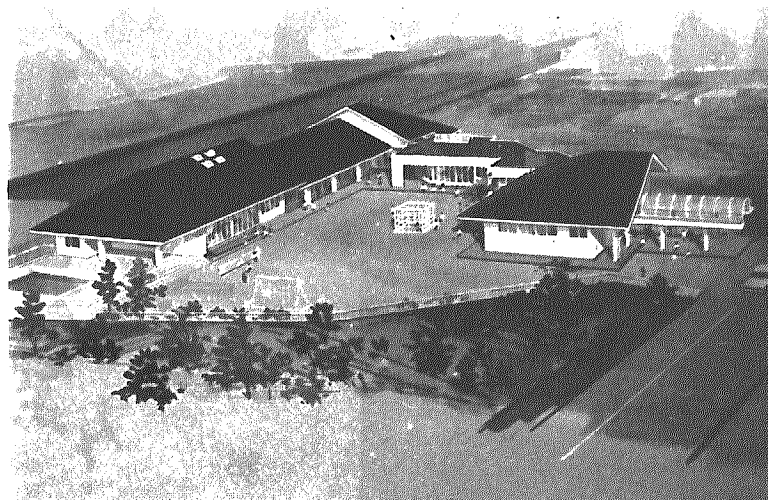
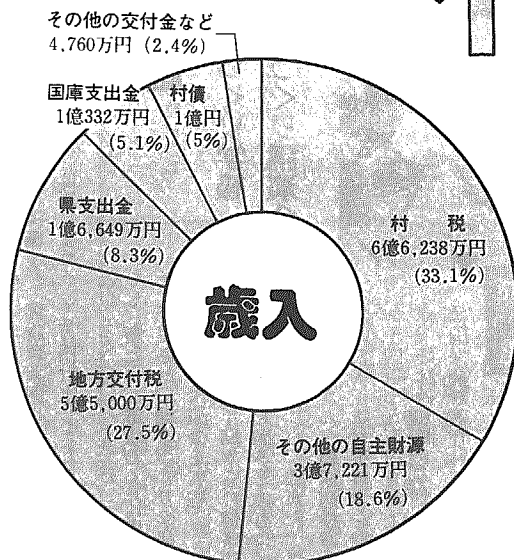
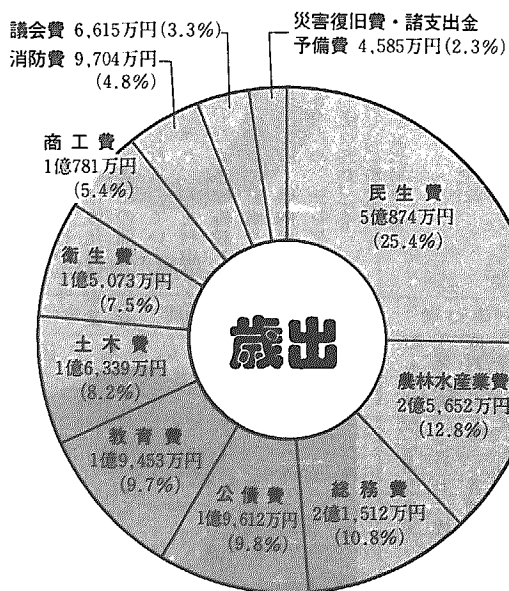
中心に進めます。担当職員も社会福祉主事の資格を取得、専門職として今年はさらにきめ細かく、思いやりをもって取り組みます。

そして、お年寄りのためにホームヘルパー派遣事業や敬老会事業・老人クラブ助成・老人保健線出金など約三千万円を用意しました。

このほか、重度心身障害者医療費助成として四百十九万円、歳末慰問事業費として四十万円を計上しました。

歳いしなかにもバイ

一般会計予算
20億200万円



和納保育園完成予想図

壽とやすらぎのある村づくりを

昭和61年度予算
35億202万円

重点施策

- 和納保育園の改築
- 水田利用再編対策の促進
- 農村総合整備モデル事業の促進
- 村道の改良整備と国道道の整備促進
- 社会福祉の充実
- 治山林道事業と水産業の促進
- 観光施設整備の促進と商工業の振興
- 農協合併の促進
- 学校教育・社会教育の振興
- 国土調査の推進

村の家計簿ともいえる昭和六十一年度一般会計当初予算をご紹介します。

予算総額は二十億二千万円。六十年度に比べ七・六％（一億四千二百万円増）の伸びです。

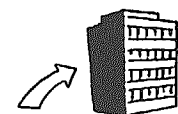
歳入（収入）のグラフに見るように自主財源が乏しく、国・県のお金に頼る率が高い構成です。このため、現在進めている行政改革をなお一層推進し、行政全般にわたる見直しを行い、歳入の確保、歳出の抑制を図ることにより健全財政の確保に努めていきます。

では限られた財源を有効に使うため、どんな工夫をしたでしょうか。

編成に当たっては、魅力ある村づくりへの基

タリティを

村民1人当たり (3月1日現在の人口と世帯数で)



※一般会計予算額
村民1人当たり 19万7,865円
1世帯当たり 79万3,814円

※村税負担額
村民1人当たり 6万5,464円
1世帯当たり 26万2,637円



盤整備とともに、個性的な政策をすべての面できめ細かく配し、厳しい財政環境のなかでも村勢にバイタリティを与えるため、村民のみならず必要とされる分野には積極的に取り組んだ予算です。

重点施策については、新規事業として和納保育園の改築を計画。また、地域活性化のため地域おこし、産業おこし対策事業を積極的に進めるとともに、活力ある村づくりはまず人づくりからを指標に、生涯教育の推進についても強力に取り組んでいきます。

以下、新規事業などを中心に、その概要をお知らせします。